

輸出事業計画

※申請者名：有限会社萩村製茶、品目：抹茶

1. 輸出における現状と課題

(現状)

緑茶は国内他産地との競合が激しさを増しているとともに、国内販売価格は長期下落傾向にある。このような情勢により、弊社は、2010年より輸出に適した茶の栽培管理に尽力しており、新たな需要が見込める海外市場をターゲットとして、抹茶を中心に輸出に取り組んでいる。

(課題)

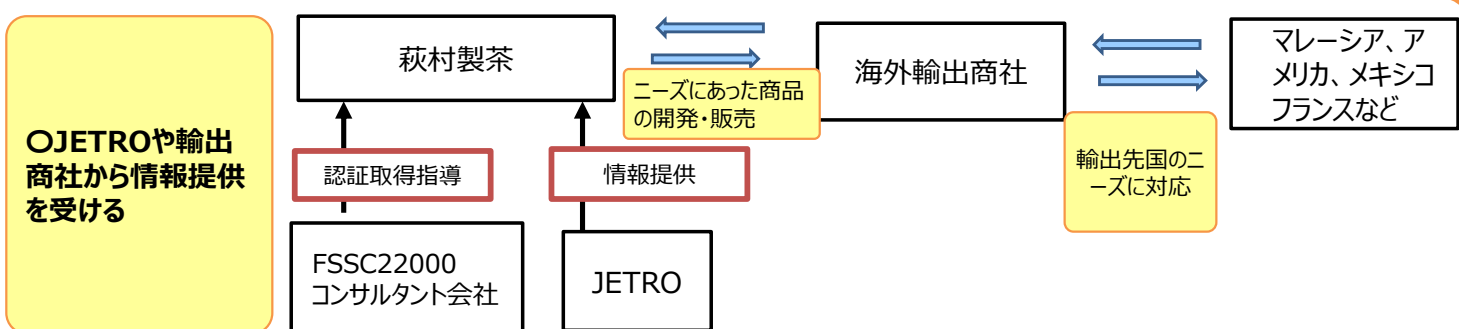
- 新規顧客を獲得するためには、有機農法や海外仕様の栽培が求められる。
- 残留農薬を測定する検査機器の分析精度が上がっており、残留農薬基準をクリアできる農薬の使用が必要となる。
- 抹茶の輸出向け需要拡大から、製造能力が追い付いていない。
- 中国産等の他国産との競合がより厳しくなることから、自社ブランドの確立を進める必要がある。

2. 輸出事業計画の取組内容



- 有機茶園を増やす。
- 海外の残留農薬基準に対応した農薬を使用して栽培する。
- 抹茶の製造ラインの能力を高める。
- 直接取引可能な海外企業を増やし、自社ブランド確立を進める。
- 現地の嗜好に合わせた商品を開発する。

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

今までのお客様を大切にしつつ、より多くのお客様に喜んでいただけるように、輸出を拡大する



生産品目 (抹茶)	現状 (2021年度)	目標年 (2027年度)
輸出額 (輸出量)	10,319千円 (2,029 k g)	260,000千円 (20,000kg)
輸出先国	マレーシア・アメリカ・メキシコなど	マレーシア・アメリカ・メキシコ、フランスなど